

ご用命・お問い合わせ先  
アペックス産業株式会社  
電話 03-3455-6474  
FAX 03-3455-6558

＜詳しいご案内は当社のホームページをご覧ください＞  
URL <http://www.apex-sangyo.jp>

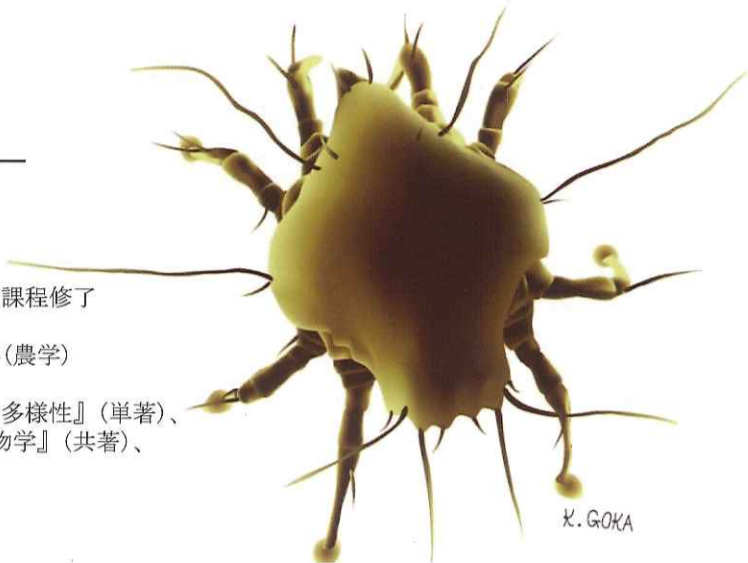
●切り取って保存してご利用ください。  
キリトリ線

## ギャラリー

### ダニのCG / 生態学者・五箇公一

#### ●プロフィール●

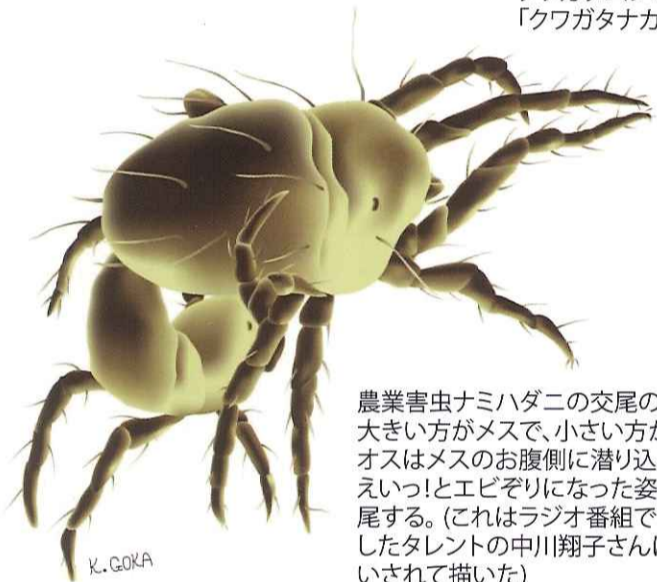
国立環境研究所 主席研究員  
1990年 京都大学大学院昆虫学専攻修士課程修了  
1990年 宇部興産株式会社農薬研究部  
1996年 京都大学博士号(論文博士)取得(農学)  
1996年 国立環境研究所、現在に至る。  
主な著書に『クワガタムシが語る生物多様性』(単著)、  
『リスク学事典』(共著)、『ダニの生物学』(共著)、  
『外来種ハンドブック』(共著)、  
『いきものがたり』(共著)など。  
専門はダニ学、生態学、環境毒性学。



クワガタムシの背中でゴミやカビを食べて生活するダニ「クワガタナカセ」のCG。自己最愛の作品でもある。



果樹の葉の汁を吸って枯らしてしまう農業害虫「ミカンハダニ」を正面から見た図。宮崎駿の「風の谷のナウシカ」に登場するオウムみたいだ、と意外に女性から人気のある作品。



農業害虫ナミハダニの交尾の図。大きい方がメスで、小さい方がオス。オスはメスのお腹側に潜り込んで、えいっ!とエビぞりになった姿勢で交尾する。(これはラジオ番組でご一緒したタレントの中川翔子さんに御願いされて描いた)



アカボシゴマダラチョウのCG。ダニの絵ばかりではなく、たまにはこういう美しい虫も描く。ただし、これは外来種。

『ダニも大きくしてみると可愛いでしょ』と見る人に語りかけても、人は少ないが、研究所に見学に来られた天皇陛下と皇后陛下が、すごく感動して下さり、ダニの絵をプリントしたポストカードを持って帰って頂いたという逸話がある、今の自分にとって人生最大の自慢であり、幸せでもある。

#### ●作者寸言●

虫やダニのコンピュータグラフィックを描き始めたのは、学会での研究成果発表用スライドに挿絵として使おうと思ったときから。最初に描いたのはヒラタクワガタ。思いのほか周囲からウケて、今では研究とは関係なく、自分の興味のある生物を描いたり、他人から頼まれて描いたりするようになった。そんな自分の作品の中で一番のお気に入りには、「クワガタナカセ」。クワガタムシの背中にくっついていて、白くて小さいダニ。ダニ学者の自分としては一番愛情を込めて描いた。

## むし籠

### 見えない「敵」を追う

カメラといえばデジタルカメラが当たり前になり、当社でもデジタルカメラを携行して、顧客への説明や報告書作成に活用しています。加えて、ネズミ害虫駆除をより効果的に展開するデジタル製品が活躍しています。

①屋外型センサーカメラ(写真)人や動物の動きを赤外線センサーで感知し、動画や静止画撮影が出来たカメラです。徘徊するネズミの出入口や通路を突き止めるのに威力を発揮しています。



さらに最近、捕獲依頼が増えているハクビシンの屋根裏を住処とすることが多いことから、屋根裏でのハクビシンの歩行経路を把握し、途中に罠を仕掛ける上で、赤外線センサーカメラは極めて有効です。

②デジタルマイクロスコープ携帯型デジタル顕微鏡です。微小昆虫・ダニ類の同定が現場で出来ます。これまでは研究所に持ち帰っていましたが、現場で同定し、すぐに駆除対応ができるケースもあり、報告書の作成にも役立っています。  
③フレキシブルチューブカメラ工業用内視鏡カメラです。ネズミ

の侵入箇所は目視調査で確認した箇所だけではありません。動かさない厨房機器の裏とか沢山あり、人が入れない場所に入り込んで確認や写真を撮る強力な武器として活躍中です。

### ウェブ会議

最近、インターネットを使ったウェブ会議が普及してきました。遠隔地から一同に集まった会議は交通費ばかりでなく移動時間を費やすことになりません。

日本PCO協会でもウェブ会議を行うことになりました。準備するのは、パソコン、イヤホン、マイク、カメラで、手軽な価格で揃えられます。

インターネットの専用のログインページに入り、あらかじめ割り当てられたIDでログインしますと、パソコン画面に次々にメンバーの顔が現れます。話している最中に事務所に電話がかかってくると、その会話がほとんど聞こえるほどの感度です。便利なのは、資料はファイルでウェブ上で手渡すだけで直ちに読むことができます。



難点は終わった後の反省会飲み会ができないことではないでしょうか。

## 虫めがね

田中生男先生を偲んで

去る二月二十六日、田中先生が急逝されました。減量のため食事やお酒を制限されておりましたが、腰が痛いという言葉が気になっていました。臍臓がんが進行していたとわかり、残念でなりません。先生とは今から四十三年も前に、東京大学医学研究所の寄生虫研究部の研究生としてお会いして以来、学会や業界の関係で毎週のように目にかかりご指導いただきました。時には一週間毎日お会いしていたこともあります。

最初の出会いが私に私が入った一年目のこと、米国PCO協会が出版したサービスマンマニュアルを翻訳して日本に出版しようという計画が持ち上がり、衛生動物学の権威である佐々木先生に提案で、「若手を集めて一泊二日の合宿で仕上げよう」ということになりました。田中先生も含めて四人で手分けして翻訳、出来上がった原稿を先生に手渡して熱海の街に繰り出し、帰ったら先生が全員の校正を終えておられ恐縮したことがあります。ゴルフも毎月定例会をやっていた時期がありました。

ケンブリッジ大学で開催された第一回都市害虫の世界学会、チエコスロバキアの第三回大会、シンガポールの第五回大会への参加、フロリダで開催された全米PCO大会では途中で抜け出してグアテマラ観光をしたり、官費でサンフランシスコ、ニューオーリンズ、ワシントンDCの米国環境省を訪ねたことなどが、懐かしく思い出されます。



デンマーク王立害虫研究所にて

## おじやま虫

### Q&A

#### ヤスデ



Q ムカデのような虫が大量に発生し、家の外壁を上がっていきませんか?  
A ムカデも壁を上がることがありますが、動きがゆっくりで、触覚が短い。体長一〜三センチ、体の節から二対の脚が出ていればヤスデです。  
Q なぜ壁を上がるのですか?  
A 交尾の際に群れをなすことがあり、壁上で交尾することもあります。詳しいことは判っていません。湿度が高いと壁を徘徊することが多く、クライミング行動と呼ばれています。梅雨の時期にクライミングが最も多く、降雨の翌朝にクライミングがよく見られます。また、新規分譲等で、土地を造成した直後に、棲み家を失ったヤスデが大量発生することがあります。

Q 駆除はどうしたらいいですか?  
A 一般家庭であれば、市販の不害虫用粉剤をヤスデが発生している箇所に散布します。クライミングがある場合は、家屋外周の壁に、二十センチ幅で帯上に均一に散布しながら家を一周します。ヤスデは腐葉土等の腐植質を餌としていますので、植栽周りの土壌部分を注意して見ると、生息箇所が判ります。それでも発生が止まらない場合は、専門の駆除業者に依頼することをお勧めします。